

栃木県・塩原温泉郷・新湯（あらゆ）温泉

奥塩原高原ホテル

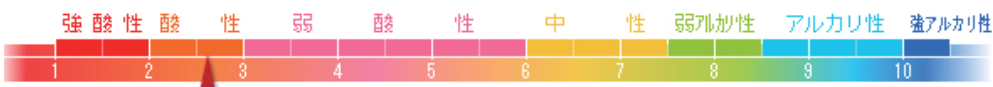
Okushiobara kogen Hotel

〒329-2922 栃木県那須塩原市湯本塩原113-4
TEL：0287-32-2464



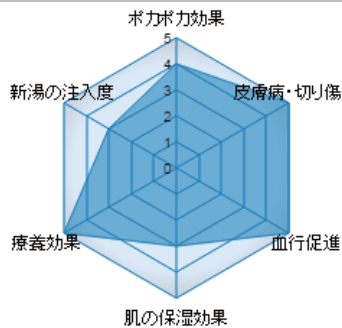
■ 宿データ (※料金は税別)	
1泊2食料金	¥11,000～
1泊朝食料金	設定なし 素泊り -
一人泊	-
宿泊時の貸切風呂料金	有料 (¥3,000 / 50分)
日帰り	¥800
日帰り(個室休憩+昼食)	設定なし

■ 水素イオン濃度 (pH ペーパー)



肌の感触 2.6(酸性) ←ピリピリ トロトロ
一言コメント 酸性かつ濃厚な香りを放つ硫黄泉の白濁の湯は、まさに温泉情緒たっぷり

■ 温泉力 チャート (5段階評価)



◆美肌の湯度数 ※最高は4つ星



★顔のシミが気になる方
慢性皮膚病にお悩みの方

◆こんな人に最適

アトピー性皮膚炎、湿疹など肌トラブルが気になる方、生活習慣病が気になる方

■ 温泉成分表

湯の色 白色 におい 硫黄臭 味 酸味・苦味
溶存物質 (ガス性ものを除く成分①+②+③の合計) 271mg
泉温 68.0℃ pH値 2.6 (酸性)
湧出量 約 120.6 リットル/分
一人あたりの温泉利用量 (湧出量/収容人数) 約 1.09 リットル/人 ※収容人数 110人
温泉の成分 (源泉 1kg 中に含有する分量) : 源泉名 : 共同噴気泉 (なかの湯)

陽イオン	ミクロム	ミリモル	陰イオン	ミクロム	ミリモル
水素イオン(H ⁺)	2.5	61.74	塩素イオン(Cl ⁻)	2	1.54
ナトリウムイオン(Na ⁺)	3.9	4.17	硫化水素イオン(HS ⁻)	0	0
カリウムイオン(K ⁺)	1.6	1.01	硫化物イオン(S ²⁻)	0	0
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	8.9	10.92	チオ硫酸イオン(S ₂ O ₃ ²⁻)	-	-
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	2.1	4.25	硫酸水素イオン(HSO ₄ ⁻)	14.1	3.96
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	6.2	16.94	硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	166.2	94.5
第一鉄イオン(Fe ²⁺)	1.1	0.97	炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	0	0
計①	26.4	99.99	計②	182.2	100.00
非溶解成分	ミクロム	ミリモル	溶存ガス成分	ミクロム	ミリモル
メタケイ酸(H ₂ SiO ₃)	61.2	0.78	遊離二酸化炭素(CO ₂)	0	0
メタホウ酸(HBO ₂)	0.7	0.02	遊離硫化水素(H ₂ S)	78.4	2.15
計③	61.9	0.80	計	78.4	2.15
成分総計 344mg/kg					

その他微量成分

総ひ素 0.01mg/リットル 総水銀・銅イオン・鉛イオン・カドミウムイオン・クロムイオン等0.00mg未満

※適応症 禁忌症に関して、平成26年7月改正の「鉱泉分析法指針」に準拠しています。 宿よりデータを提供して頂きました。

この泉質ならではの浴用の適応症

アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿症、末梢循環障害
耐糖能異常(糖尿病)、自律神経不安定症、不眠症、うつ状態

浴用の一般的適応症

筋肉又は関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、病後回復期、疲労回復、健康増進など

浴用の禁忌症

皮膚又は粘膜の過敏な人、高齢者の皮膚乾燥症

※一般的禁忌症・・・病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期

飲用の適応症

耐糖能異常(糖尿病)、高コレステロール血症 ※奥塩原高原ホテルでは飲用不可

分析日

平成17年6月2日

データ製作
温泉コム株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-6-2 第2本ビル6F
TEL 03-5485-1311 FAX 03-5485-3500
E-MAIL info@onsencom.jp



貸切温泉どっとこむ

http://www.kashikiri-onsen.com/

温泉解説

源泉かけ流しの濁り湯・貸切露天風呂/星降る高原の温泉リゾートホテル

泉質名 単純酸性硫黄温泉(硫化水素型)
(共同源泉から引湯)

低張性 酸性 高温泉

■ 源泉の利用状況				
加水なし	加温なし	消毒なし	消毒なし	入浴剤なし
○	○	○	○	○

※源泉100%かけ流し

源泉率 100%

湯の入替 1日1回

源泉の湧出状況

共同源泉1本：自噴泉
管理組合で集中管理して各旅館に分配される源泉

飲泉 不可

源泉かけ流し風呂

すべての湯舟が、加水、加温をしない、源泉100%かけ流し

◆温泉レポート (文・温泉&宿コンシェルジュ 大竹仁一)

この宿で使われている温泉は、新湯(あらゆ)温泉4軒の宿共通の湯で、近くの通称・硫黄山から引き湯された源泉。

泉質名は「単純酸性硫黄温泉(硫化水素型)」となる。

pH2.6の酸性を示し、玉子が腐ったような匂いが特徴。

つまりは、「単純酸性泉」と「単純硫黄泉(硫化水素型)」の2つの泉質がミックスされたもの。

ちなみに、泉質名の頭に「単純」と付くのは、温泉1kg中に溶存物質(ガスを除く)が1000mg未満の泉質の場合。

「酸性泉」は、1kg中に水素イオンが1mg以上ある温泉。

ここでは、温泉1kg中に溶存物質(ガスを除く)が1000mg未満なので「単純酸性泉」となる。

刺激が強いので、肌の弱い人には適さず、「湯あたり」しやすい泉質でもある。

気になる方は、入浴後にシャワーで温泉を洗い流した方がいいだろう。

また、「酸性泉」は、殺菌力が強い事から「皮膚病の湯」とも呼ばれている。

「硫黄泉」は、1kg中に「総硫黄」が2mg以上ある温泉。

同じく、温泉1kg中に溶存物質(ガスを除く)が1000mg未満なので「単純硫黄泉」となる。

ここでいう「総硫黄」とは、①硫化水素イオン②チオ硫酸イオン③遊離硫化水素のこと。

一般に「硫黄泉」は、「硫黄型」と「硫化水素型」に大別されるが、この温泉は「硫化水素型」。

ちなみに、「硫黄型」は①②が主体で、「硫化水素型」は③が主体。

専門的な事を書くに、「モル」という単位で計算して、①+②>③となったら「硫黄型」。

①+②<③となったら「硫化水素型」となる。

「硫黄泉」は、動脈硬化症、高血圧、高血糖にいいとされる事から「生活習慣病の湯」とも呼ばれている。

また、メラニンの分解を促す事から「シミ予防の湯」とも言われる。

「硫化水素型の硫黄泉」に限って言えば、痰のキレをよくすることから「痰の湯」と呼ばれる事もある。

「硫黄泉」は「酸性泉」と同じく、刺激が強い泉質なので、病弱者、高齢者、肌の弱い人には注意が必要で、「湯あたり」しやすいと言える。

いずれにしても、この宿の温泉は、「硫黄泉」と「酸性泉」の両方の温泉を享受できるのだから、非常にありがたい。

平成26年の改定では、「硫黄泉」「酸性泉」共通の浴用の泉質別適応症としては、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、表皮化膿症(硫化水素型の硫黄泉に関しては末梢循環障害を加える)。

「硫黄泉」のみでは慢性湿疹。

「酸性泉」のみでは耐糖能異常(糖尿病)。

飲用の泉質別適応症を見ると、耐糖能異常(糖尿病)は、「硫黄泉」も含まれるが、この宿では残念ながら保健所の許可は取っていない。

しかしながら、この白濁した極上の温泉を、できるだけ加水をせず、湯量で温度調節をしているのが何よりも素晴らしい。

源泉かけ流しの温泉の醍醐味を、肌感じてほしい。

◆宿レポート (文・温泉&宿コンシェルジュ 大竹仁一)

「奥塩原高原ホテル」は、塩原温泉郷のひとつ、標高900~1000mの山あいにある「新湯温泉」にある。日光国立公園塩原温泉郷の豊かな自然の中、上質な温泉を味わうことができるのだ。

ここでは、3つの外湯の共同浴場も、温泉ファンを楽しませてくれる。

館内には、露天風呂付きの男女別大浴場の他に、バリアフリーの貸切風呂と、3つの趣きの違う貸切露天風呂も用意されている。

客室もリーズナブルな和室から、豪華な和洋室まで揃い、最近ではツインのローベッドが配されたモダンな客室も選べるようになっている。

料理も、地元の食材を使い、旬の献立を味わうことができる。

この宿を良く知る客は、和牛ステーキをオーダーすることが多いと聞いた。

四季折々の風景を楽しめるこの宿は、静かでゆったりとした時間を過ごせる。

春の新緑、夏の避暑、秋の紅葉、そして冬の雪見露天など、楽しみはいっぱい。

特に冬は、近くに関東最大級のスキー場があるので、ウィンタースポーツを目的の客も増えているという。リーズナブルな料金設定で、リピーター客も多いのも特徴だ。